



生駒市立大瀬中学校

# 校長室から

平成29年 4月 28日

第1号

校長 高島智春

## 新しい年度のスタートにあたって

181名の新入生を迎え、新しい年度がスタートして約1ヶ月たちました。1年生は、中学校への入学という節目を経験し、2、3年生は1つずつ学年が上がりました。新しい環境での生活に慣れたでしょうか。



(正門前階段から校舎を望む)

新しい年度になりましたが、昨年8月に尊い生徒の命をなくしてしまったことは忘れることができません。年度が変わっても、これから何年経っても忘れることはありません。このことをしっかりと受け止めて、生徒の皆さんが、大瀬中学校で安全に生き生きと生活を送ることができるよう先生たちと協力してこれからの学校をつくっていきます。

## 大切にしてほしい3つのこと

始業式、入学式で生徒の皆さんに、学校生活の中で生徒の皆さんに大切にしてほしいこととして3つ話をしました。

一つ目は、「自ら進んで学ぶ」ということです。毎時間の授業を大切に、



精一杯学習に取り組んでほしいと思います。学習をすることは、考える力をつけることにつながります。また、自ら進んで学ぶことは「わかる」こと、「できる」ことへの入り口だと思います。

二つ目は、「人に思いやりの心で接する」ということです。学校へ行けば、「自分を認めてくれる人がいる。」「自分を大切に思ってくれる人がいる。」と思うと学校へ行くのが楽しくなります。人を大切に思い、寄り添ったり、親切にしたり、励ましたりする、思いやりの心と態度を大切にしてほしいと思います。

三つ目は、「あきらめずに挑戦する」ということです。生活をする中で、いつも成功するとは限りません。うまくいかないときこそ、失敗を恐れずにあきらめずに挑戦する粘り強さを持ってほしいと思います。



## 朝のあいさつ ～温かなぬくもり～

毎朝、昇降口で登校してくる生徒にあいさつをすると、ほとんどの人が軽く会釈をしてあいさつを返してくれます。それだけで心がぼかぼかしてくるのを感じます。不思議なぬくもりです。ほめてもらったわけではありませんが、うれしくなります。そんな経験がありませんか。

あいさつには、「あなたがそこにいることに気付いていますよ。」「あなたを認めていますよ。」という意味が込められているのです。誰でも自分の存在を認めてもらうとうれしいものです。心が温まるあいさつがもっともっと広がればと思います。

## 保護者の皆さまへ

本年度もこの「学校だより」を不定期で発行します。学校の様子をできる限りお知らせしたいと考えています。

今後とも、大切なお子様のために学校の教育活動にご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

